

東日本大震災復興支援イベント 舞台「あの日のこと」を上演します

東日本大震災で被災された方々の経験を写真と朗読で綴る舞台を各地で上演し、好評を得ています。被災者の生の声を通して東日本大震災の記憶を共有し、日本全体の記憶として心に留め続けていくことが、被災された方々の心の支えとなります。震災から3年を経て、もう一度あの日の事を振り返ってみたいと思います。

日 時	2014年3月14日(金) 開場 18：00／開演 18：30
場 所	中目黒 GT プラザホール
チケット	1,000 円(全席自由席) 電話・FAX・メールにて受付けます。 ※ チケット代は、寄付として東日本大震災復興支援事業に活用させていただきます。
内 容	仙台出身の戦場カメラマン高橋邦典氏が撮った被災地の写真映像と元宝塚歌劇団のこども愛さんによる被災者が綴った手紙の朗読と歌で、震災から3年を経た人々の想いを届けます。



カナダのサポーターに感謝

空港に設置した募金箱には多くの方々が世界中のコインを寄付して下さいます。しかし、外国のコインを円に交換する銀行や外貨交換所は日本にありません。そのことを、在日カナダ商工会議所の方々に話ししたところ、すぐに、数人のカナダ人がカナダのコインを円に換えて下さいました。コインは大変重いにもかかわらず、帰国する時にご持参されました。東日本大震災復興支援に活用させていただきました。深く御礼申し上げます。

ご協力くださったのは次の方々です。

Mr. David Anderson, Mr. Christian Howes, Mr. Karl Pires,
Ms Mary Beth Takao (Alphabetical order by family name)

企業の方々による国際協力

この半年間、多くの企業の皆さまが社会貢献としてボランティアにご参加下さっています。ご協力に心から感謝申し上げます。

あおぞら銀行

自由が丘支店内で、外貨コイン分けワークショップを開催して下さいました。

積水化学工業株式会社

社員の方々のボランティア体験としてコイン分けワークショップを開催していただきました。

株式会社ジェーシービー

社員の方々が、日本ハビタット協会事務局で定期的に開催されるボランティアデーに、毎回ご参加下さる他、社内でもコイン分けワークショップを開催して下さいました。

新橋スタンプ商会

「世界の貨幣・切手・テレフォンカード祭」で募金活動をして下さいました。

三井物産株式会社

ボランティア体験月間で、外貨コイン分けワークショップを開催、社員の方々もコインを持ち寄して下さいました。

シトリックス・システムズ・ジャパン(株)

社員の方々が、日本ハビタット協会事務局で定期的に開催されるボランティアデーに、毎回ご参加下さる他、社内に募金箱を設置、書き損じはがきなども集めて下さいます。

積水フィルム株式会社

社員の方々のボランティア体験としてコインわけワークショップを開催していただきました。

ご寄付をいただきありがとうございます

2013年7月1日～2013年11月

(敬称略・順不同)

ご寄付 国際ソロプチミスト 熊本一さくら・佐賀・東部、(有) 岩田時計店、ふくおか会館、福岡空港ビルディング(株)、(株) 新橋スタンプ商会、益見 孝述、成田国際空港(株)、関西国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、中部国際空港(株)、J R九州高速船(株)、中井 禮子、中村 勇、(株) 千歳館、鈴木 有、鈴木 快枝、紋田 廣子、棚山 正行、堀 寛紀 保子、(株) 北原、馬場 瑠造、波津 博明、田野井 弥生、塚本 佐知子、長島 定則、竹田 英一 啓子、池村 俊郎、大島 政子、大久保 裕司、赤坂六本木診療所、村田 由紀、石井 清俊、東京共済病院、瀬戸 美都子、松下 秀教、松井 昌子、松井 孝憲、小林 英俊、勝又 宏幸、秋本 敏文、篠田 一朗、世木 爵、ステーク将門、佐伯 薫、原田 義信、建石 教子、兼平 剛志、宮田 秀子、久保庭 啓一郎、菊池 ヨネ子、吉井 一弥、鬼頭 猛、笠 留美子、奥田 あずさ、井上 洋一、長谷川 隆徳、花島 光男、菊地 柳司、菊地 恭子、菊地 柳秀、菊地 多恵子、ハート薬局、珈琲店 ストーンズ、住商インテリアインターナショナル(株) 社員会、湘南国際マラソン実行委員会、成嶋 幸子、鈴木 美子、武田 和浩、貴田 晴照、飯沼 しゅう子、宮口 則子、藤田 美江子

切手・書き損じハガキ 長谷川 隆徳

ご協力いただいた団体 ニューサンノー、(株) 新橋スタンプ商会、ソフトバンクモバイル、ハビタット福岡市民の会、地球環境基金、ちよだボランティアセンター、中野区、(株) ジェーシービー、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター、(有) マレイアソシエイツ、メルリリンチ日本証券、東京農業大学、岩手大学、シャンドウ ミュリエ、(社) 日本フィランソपी協会、ジャストギビングジャパン、三井物産(株)、(公財) 三菱商事復興支援財団、あおぞら銀行、積水化学工業(株)、積水フィルム(株)、山の根自治会、ハビタットフレンズ東京・名古屋・仙台・九州・コース・中野・ハワイ・三島



会費納入をお願い致します

日本ハビタット協会は設立以来、皆様の御支援により、様々な活動を展開することが出来ました。皆様からのご支援ご協力が心より感謝申し上げます。引き続き、新たな活動を展開するためにも皆様に会費の納入をお願い致します。

郵便振替 00150-2-17590 日本ハビタット協会

個人会員：1口 3,000円
法人会員：1口 30,000円 (何口からでも結構です)

『紛争・災害後のまちづくり』にご協力下さい

人の幸せの基本である「まちづくり」を様々な角度から考え、世界中の人達が安心して毎日を送れるような居住環境をサポートしています。「人の幸せをささえる “ まちづくり事業 ”」に皆様からの御協力を宜しくお願い致します。

郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口

三菱東京 UFJ 銀行 麹町中央支店 普通口座 1519563 日本ハビタット協会

あおぞら銀行 本店 普通口座 6753952-001 特定非営利活動法人日本ハビタット協会

発行：認定 N P O 法人 日本ハビタット協会 (発行責任 伊木 常昭／編集責任 山本 博子)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-12 ふくおか会館 1 階 TEL：03-3512-0355／FAX：03-3512-0358
E-mail：info@habitat.or.jp／URL：http://www.habitat.or.jp

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-1-1 アクロス福岡 8 階 TEL：092-724-7121／E-mail：fukuoka@habitat.or.jp



フィリピンに大型台風

11 月 8 日にフィリピン中部のレイテ島周辺を襲った大型台風は甚大な被害をもたらしました。発表される被害は日を追うごとに広がっています。報道によると 1,500 万人が被災し、住む家を失った人は約 120 万人です。避難所が不足しているため、そのうちの 8 割が屋外での生活を余儀なくされているようです。水や食糧も足りず、衛生状態が悪い中での暮らしです。これ以上被害が広がらないようにするためには、一刻も早く支援活動を進める必要があります。

日本ハビタット協会では、被災された方々が一日も早く安心して生活ができるように、募金活動を開始しました。

フィリピンで活動している NGO「DAMPA」を通して人々の復興支援に活用します。

皆さまのご協力をお願い申し上げます。



国連ハビタット親善大使 マリ・クリスティーン



photo by DAMPA

フィリピン台風緊急募金

三菱東京 UFJ 銀行 麹町中央支店 普通口座 1519563 日本ハビタット協会

郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※ 振込用紙に「フィリピン緊急募金」とご記入ください。

● ホームページからクレジットカード(VISA, Master Card)でもご寄付いただけます。

夢すくすくプロジェクト in ラオス ～子どもたちに本を贈ろう～

ラオスの学校では生徒数に対して本の数が全く足りていません。図書室がない学校もあります。子どもたちは、自分の興味のある本を選んだり、好きな時に本を読んだりすることができず、同じ本を何回も読み直している状況です。

子どもは学校の授業において読み書きや演算などを学ぶだけでなく、社会や世界について知り考えさまざまな知識を身に付けていかなければなりません。そのためには、本を読むことがとても重要になります。本は子ども達の想像力を養い未来を創造する力を育みます。

子どものころを育む力を持つ本を届けることで、子ども達が自分たちの夢を描きその夢を実現できるよう支援していききたいと思います。

ある学校の生徒が「僕の夢は警察官が通訳になることです。」と話してくれました。日本ハビタット協会はこの事業を通じて子ども達が持つ未来へのあふれる可能性を支えていきます。



学校で勉強する子どもたち

夢すくすくプロジェクト

へのご寄付をお願いします。

★ 3,000円のご寄付で10冊の本が買えます。

みずほ銀行 麹町支店 普通口座 2108468 日本ハビタット協会

郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
※ 振込用紙に「図書」とご記入ください。

クレジットカード (VISA, Master Card) でもご寄付いただけます。

日本ハビタット協会のホームページよりお願いします ▶▶▶ www.habitat.or.jp



学校で読まれている絵本や物語

復興の桑 ～収穫そして販売へ～



収穫に参加したボランティアツアーの方々



仙台市「杜の市場」で行われた収穫祭

日本ハビタット協会では、東日本大震災で被災した畑に桑の木を植えて地域の復興と再活性化を目指す「復興の桑プロジェクト」を実施しています。

2013年5月30日～6月2日に実施されたボランティアツアーでは、多くの方にご参加いただき、7,000本の桑の苗を植えることができました。この1本1本の桑の木は、農家の方が丹精をこめて育成し、中には2m以上になるなど順調に成長しました。

9月には無事に450kgの生葉を収穫することができ、そこから113kgの桑パウダーができました。放射線検査も問題なく、秋から販売を始めました。

9月8日に早稲田大学で開催された“ふるさと回帰フェア”、10月5～6日に新宿御苑で開催された“グレーター東京フェスティバル”に出展、販売することができました。11月2日には、地元仙台で、被災した畑から見事に恵みをもたらす畑へとよみがえった大地と、ご協力いただいた全ての方に感謝の気持ちを込めて“収穫祭”が行われました。仙台市若林区にある『杜の市場』の会場には復興の桑プロジェクトのこれまでの軌跡をパネル展示し、桑茶や桑豆乳ラテに桑パウダー入りのパウンドケーキを提供しました。

予想以上に反応が良く、多くのお客様に桑パウダーをご購入いただくことができました。強力な応援団として女川の獅子舞の皆さんも駆けつけてくださり、景気の良い掛け声と太鼓、そして縁起の良い獅子舞で会場を盛り上げて、大変賑やかで楽しいイベントとなりました。

復興の桑茶(シャンドゥ ミュリエ)発売中

味は抹茶に似ていて飲みやすく、鉄分、カルシウム、マグネシウムなどのミネラルと食物繊維が豊富に含まれています。ぜひおためし下さい。

商品のお申込み・お問い合わせ

E-mail … info@champs-du-murier.com URL … <http://champs-du-murier.com>
日本ハビタット協会事務局でも商品お申込みの仲介をします。



復興の桑応援サポーター

サポーターとして農業の復興と地域の再生を応援して下さい。

支援金：年間 3,000 円 ※桑の苗木 3 本を植えることができます。



ご寄付をいただいた年度毎に年一回
桑パウダー(シャンドゥ ミュリエ)
1袋をプレゼントします。

お申込み方法

電話、FAX、メールのいずれかにて、名前・住所・電話番号をお知らせ下さい。その後、下記の口座にお振り込み下さい。住所は桑パウダーをお送りする際に必要となります。

連絡先：日本ハビタット協会

TEL 03-3512-0355

FAX 03-3512-0358

E-mail info@habitat.or.jp

振込先

郵便振替 00140-7-540813 日本ハビタット協会 記念事業

三井住友銀行 麹町支店 普通口座 9121975
特定非営利活動法人 日本ハビタット協会

緑いっぱいプロジェクト in ラオス

2012年4月よりラオスのルアンパバン県で植林活動を通して人々の暮らしと自然を守る事業を実施しています。2012年度は8,200本 25haの植林を行いました。

2013年度は6月1日～7月25日にかけてパクウー地区、シエンゲン地区およびルアンパバン地区において35.55haの植林を実施し、人々の暮らしに役立つマンゴーやオレンジなどの果樹3,000本の他に保水性の高いアカギとメンガ合わせて11,200本を植林しました。この植林には地域住民363人が参加し地域の自立心を養うことにもつながりました。

植林活動に参加し現在苗木の育成管理をしている村人の一人 Ms.Keola は「たくさんの家族を養わなければならないのに、私の他に働き手がないため現金収入はとても乏しく生活はとても苦しい状況にあります。この植林はもちろん自然を良くするものですが、それ以上に私達の暮らしにとって大切なものになりました。本当にありがとうございます。」と語ってくれました。

今後も地域の人々と協力しながら自然と人々の暮らしが守られたまちづくりを推進していきます。



苗木の育成管理を行う Ms.Keola

子ども達ニコニコ プロジェクト ～南三陸町立志津川保育所～

南三陸町立志津川保育所は高台に位置するため直接津波の被害は受けませんでしたが、すぐそばまで津波が来たため、子どもたちは大きな恐怖を経験しました。その後、南三陸町の水道の復旧が遅れたため、日本ハビタット協会ではウォーターサーバーと安全な水を届ける支援を続けてきました。子どもたちが恐怖の体験を忘れ笑顔で過ごす日を増やしたいと、この度保育所の発表会などに使用する多目的ヒナ段を送りました。11月30日の生活発表会から活用されています。



保育園へ贈られた「多目的ヒナ段」と子どもたち

子どもの自立支援プロジェクト

東日本大震災で親を失った子どもたちのほとんどは、現在、親戚や知人などの里親のもとで暮らしています。子どもたちが、進学、就職そして将来に希望をもって自立するためには、里親のほか、専門家による多角的サポートが必要です。そして、これらの人々との協力も必要です。親が育てられなくても、子ども達の将来が希望に満ちたものとなるように、子どもの夢ネットワークは、10月5日に研修会を開き、里親を含む関係者50名が参加しました。「つながりを力に - 子どもと共にある現場から」をテーマに座談会を開き、その後、グループに分かれて、「つながり」をテーマに意見交換をしました。

子どもの夢ネットワークは、子どもたちも含め関係者や関心のある人々がいつでも集い、相談できる「居場所づくり」事業を検討中です。日本ハビタット協会は、「子どもの夢ネットワーク」を通じて被災地の子どもたちの支援を実施しています。

ブータンに救急車を寄贈

日本ハビタット協会は、名古屋競馬株式会社及び藤田保健衛生大学病院と協力して、救急車1台をブータンに寄贈しました。救急車は5月19日に名古屋港で船に搭載され、シンガポール、カルコタを経由してブータンに輸送されました。ブータンでは、政府の健康省の管理のもと、南部の町ゲンブーの中央地域病院で救急車として活用されています。

この度、ブータンの保健大臣から次の内容の感謝状を受け取りました。

「日本の人々から救急車を寄贈していただき、名誉に感じています。ブータンとブータンの人々を代表して、心よりの感謝を申し上げます。ブータンにおける患者輸送の効率化をはかるため、救急車を増やす必要を感じていたときに、この救急車が到着しました。現在、ゲレブーの中央地域病院に配置され、同病院が管轄する6地域の住民の健康を守るために活躍しています。日本の方々からの高価な贈り物とブータン人に対する温かい心遣いと愛情に、心より感謝を表明いたします。」



秋の国際協力イベント

10月6日は外務省が定めた「国際協力の日」です。この日を記念して各地で国際協力イベントが開催されました。

グローバルフェスタ JAPAN 2013
10/5 ～ 6 @日比谷公園

ブース内でコイン分けワークショップを実施しました。雨天のため、足場が悪い中、多くの方がブース内で外貨コイン分けをして下さいました。毎年参加して下さい下さる方もいっしょに、定着した活動になっているのを感じます。



よこはま国際フェスタ 2013
10/19 ～ 20 @象の鼻公園

女川の「大漁獅子舞まむし」を招き、津波で流され、復元をお手伝いした獅子頭で獅子舞をしていただきました。勇壮に踊りながら一人ひとりの厄を噛む獅子舞は多くの人に喜ばれました。海外の方にも興味深かったようです。



ハートフルフェスタ
10/6 @福岡市役所

福岡市人権啓発センター主催で、福岡市役所西側ふれあい広場で開催され、パネル展示やコイン仕分け体験などを通じて活動を紹介しました。



地球市民どんたく 2013
11/9 ～ 10 @アクロス福岡

アクロス福岡 2階の交流ギャラリーで開催されました。展示とコイン仕分けのコーナーは、子どもから大人までたくさんの人々に楽しんでいただきました。



世界ハビタットデー

毎年10月第1月曜日は世界ハビタットデーです。今年は10月7日(月)、国連ハビタット福岡本部の主催で「Urban Mobility ～私たちの暮らしとモビリティ～」をテーマに、移動しやすさ、交通などのアクセスのしやすさなどの視点から、自分たちの暮らしを考える、全員参加型のワークショップが福岡市のアクロス福岡7階大会議室にて開催されました。

